

宮本三郎

神話の世界を描く

Painting the World of Myth



《牧歌(三部作其三)》1973年

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

開館時間 | 10:00 ~ 18:00 (最終入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日 (ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、
年末年始 (2026年12月28日 ~ 2027年1月4日)、10月12日 (月・祝)、11月23日 (月・祝)、
1月11日 (月・祝) は開館、10月13日 (火)、11月24日 (火)、1月12日 (火) は休館

観覧料 | 一般220円 (180円)、大高生170円 (130円)、65歳以上 / 中小生110円 (90円)

* () 内は20名以上の団体料金 * 障害者の方は110円 (90円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。

介助者 (当該障害者1名につき1名) は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。* 世田谷区内
在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日は無料

2026
10/1 [thu.]

2027
» 3/14 [sun.]

MIYAMOTO SABURO Painting the World of Myth

卓抜した写実表現で知られる洋画家・宮本三郎(1905-1974)。宮本は、西洋美術から多くを学び、ときに神話や宗教を主題とした作品も手がけました。とくに晩年に数多く描かれた絢爛な色彩の裸婦像には、ギリシャ神話をはじめとするさまざまな物語が重ねられていきました。

1971年、「花と裸婦 女神たちの復活」と題した個展で宮本は、「主題を“神話”に踏み切ることから、構想の中にかえって“人間”を置く楽しさが加わり、従来よりは一層の困難を経験しながらも、新たな情熱をかき立てられ、数点の大作を得ました」と述べています。没後、遺された膨大なデッサンの中からは、それらの大作を統合し、巨大な祭壇画のような作品にまとめようとした構想を示すスケッチも見つかっています。神話を描くことは、宮本が自らの画業の一つの到達点として見定めた、最晩年における重要なテーマだったといえるでしょう。

本展では、西洋の神話にまつわる絵画を中心に、日本の仏像を描いた作品なども加え、東西の文化に根差した造形をご紹介します。写実の画家が描き出した、幻想的な神話の世界をお楽しみください。



《ヴィーナスの粧い》1971年

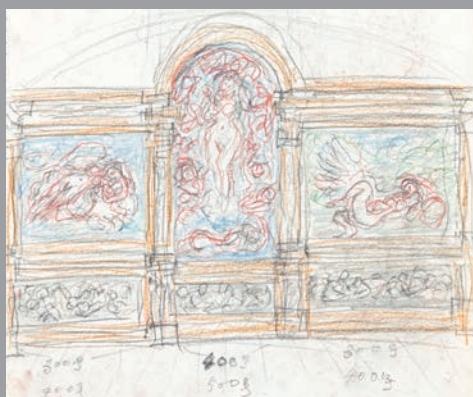


《寂光》1964年

《Venus Anadyomene》習作 1972年頃



《牧歌》習作 1972年頃



最晩年のスケッチには、神話を描いた複数の作品を統合した巨大な祭壇画のような構想を示すものも遺されている。

不詳(構想スケッチ)1970年代

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

【交通案内】 電車 ◎ 東急東横線・大井町線「自由が丘」駅より徒歩7分

◎ 東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分

◎ 東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分

バス ◎ 東急バス(渋11)田園調布駅～渋谷駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分

◎ 東急バス(園01)田園調布駅～千歳船橋駅「浄水場前」下車徒歩10分



©宮本和義

世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016
東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



©上野則宏

向井潤吉 山岳風景のなかの民家

2026年10月1日(木)～2027年3月14日(日)

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066
東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



©宮本和義

清川泰次 傑作展

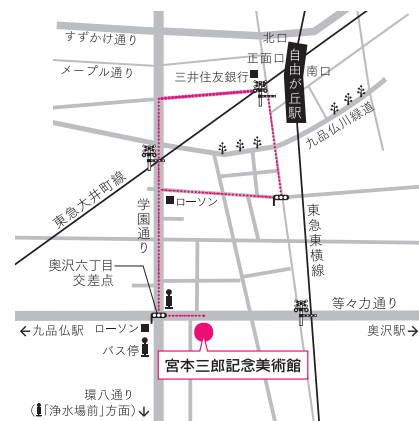
2026年10月1日(木)～2027年2月28日(日)

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL.03-5483-3836

<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

@miyamotosaburumuseum_annex



世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
TEL.03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

同時開催

企画展

スウェーデン・テキスタイル — 暮らしと自然に息づく北欧デザイン 9月19日(土)～11月15日(日)

銅版画家・駒井哲郎 — 掌上にひろがる星座のように 11月28日(土)～2027年1月31日(日)

世田谷美術館コレクション選
生命の惑星 セタビの森のわたしたち

2027年2月13日(土)～3月31日(水)

ミュージアム
コレクション

気になる、こんどの収蔵品 — 作品がつれてきた物語

8月8日(土)～10月25日(日)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。

※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。